



# 山口県立山口博物館だより

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



2020年12月号

## 「はやぶさ2」も学べる博物館!!



12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」が地球の重力圏に帰ってきて、カプセルを届けました。オーストラリアで無事回収されたカプセルには、小惑星「リュウグウ」に関する試料（石や砂など）が入っている可能性が高いそうです。小惑星内部の試料が採取されていれば、世界初の快挙です。そして、太陽系の成り立ちや生命の起源に迫る情報を得られる可能性もあると言われています。どのような解析結果が出るか楽しみです。

「はやぶさ2」は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）で開発されましたが、なんと山口博物館の2階のコーナーでは、JAXAが撮影した天体や探査機などの映像、CGを上映しています。今回の「はやぶさ2」の活躍をより詳しく知ることができます。ぜひご覧ください。



「はやぶさ2」は、6年50億キロにわたる長旅を終え、すぐに次の目的地、小惑星「1998KY26」へと出発していきました。途中、地球の引力を利用する「スイングバイ」を2回行って軌道を変更し、2031年7月に到着する予定だそうです。博物館には「スイングバイテーブル」という体験展示があります。これは、ボールをレールにのせて、ゴールに向けて転がし、テーブル中央にある大きな穴を利用してうまくゴールに入れる仕組みです。

「はやぶさ2」が使ったスイングバイ航法と、重力に捕まって楕円運動を続けるケプラーの法則を体験することができます。一度経験してみたいかがでしょうか。



# きれいになりました!!

博物館には、館内だけではなく、館外にも素敵な展示物があります。その一つが「D60 形式 1 号機関車(SL)」です。昭和 2 年に作られて昭和 41 年に引退するまで東海道本線や山陰本線で活躍しました。館外の展示のため、ところどころ塗装がはがれていましたが、11 月末から始まった蒸気機関車の改装が完了しました。とてもきれいに塗装され、朝日に輝いている姿は、現役で走っていたときのようです。改装が終わった直後の今、とても素敵な姿が見られます。写真ではその素晴らしさをお伝えすることができないので、ぜひご来館ください。



## 出前授業の紹介

### ロボットプログラミング教室

教育用ロボットを使ってのプログラミング体験を通して、プログラミング的思考を育てたり、プログラムの働きや情報技術のよさに気づいたりします。

身の回りにあるロボットについて考えることでロボットと人間の違いやロボットの特徴について学習します。いろいろなタイプのロボットが動く様子を見ることで、順序を考えてプログラムを組むことやプログラムの働きやよさについて学びます。そして、児童生徒がプログラムを組み、実際にロボットを動かして、課題を解決しながら、プログラミング的思考を深めていきます。



次の学習で活用できます。

- 人の体のつくりと運動（小学校 4 年 理科）
- プログラミング教育（小学校）
- プログラムによる計測と制御（中学校 技術科）

- 対象学年 低学年からできます。
- 対応可能人数 35人まで（要相談）
- 時間 90分～120分（要相談）
- 材料費 なし

※ ただいま、3学期の出前授業を受け付けています。まずは、博物館に電話でお問い合わせをしてください。

詳しくは山口博物館のホームページ  
(博物館ガイド、学習の手引き)を御覧  
ください。

<http://www.vamahaku.pref.vamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073  
山口市春日町 8-2  
TEL 083-922-0294



